

## 農林水産省委託プロジェクト「脱炭素型農業実現のためのパイロット研究プロジェクト」の研究成果を「アグリビジネス創出フェア 2024」に出展しました

資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ上級研究員 芦田 敏文  
資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ研究員 藤井 清佳

11月26日（火）～28日（木）に、東京国際展示場にて開催された「アグリビジネス創出フェア 2024」に、農林水産研究推進事業委託プロジェクト「脱炭素型農業実現のためのパイロット研究プロジェクト」の研究成果を出展しました。

本プロジェクトは令和3年度から開始し、農研機構（当部門のほか、農業環境研究部門・畜産研究部門・中日本農業研究センター・北海道農業研究センターが参画）を代表機関として産業技術総合研究所，都道府県公設試験研究機関2機関，2大学，民間企業2社の参画を得て産学官連携の取り組みの中で進めてきました。特にこのプロジェクトでは社会実装を目指して、国内の複数の地域にパイロット実証地区を設定し、水田，施設園芸，畜産・畑作におけるGHG排出削減と生産性向上を両立する緩和技術システムの開発により，農業分野における気候変動緩和技術導入を加速させ，脱炭素化に貢献することを研究目的として実施してきました。

本プロジェクトは，以下の4つの小課題で構成されています。

小課題1：水田発生GHG排出削減技術と生物多様性保全の最適化

小課題2：地域資源を活用した園芸施設におけるGHG排出削減と生産性向上技術の開発

小課題3：有機性資源エネルギー利用促進を支える畜産・農地の資源循環営農技術の開発

小課題4：緩和技術導入による営農評価および地域経済・環境影響評価手法の開発

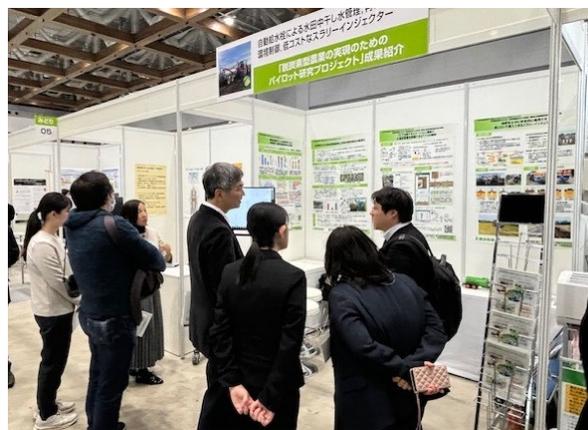
出展ブースでは，これまでの開発技術・研究成果を取りまとめたポスターを展示したほか，作成準備した研究成果の説明動画をディスプレイで放映しました。多くの方にお立ち寄りいただき，開発技術・研究成果の説明と意見交換をさせていただきました。

また，開催期間中の27日（水）午後には，メインステージでセミナーを開催し，各小課題担当者から公表済みの内容を中心にこれまでの研究成果を分かりやすく紹介しました。

展示ポスターの内容をまとめた資料を300部準備しましたが，そのほとんどを来訪者に配付することができ，研究成果のアウトリーチ活動を実施する良い機会となりました。



セミナーの様子



展示ブースでの説明の様子